

【25】旧六軒町郵便局とその界隈

昭和2年(1927)に銘木展示場として建設、その後は六軒町郵便局として親しまれてきた洋館。国登録有形文化財。街道に面した交差点に建ち、町家や看板建築とともに印象的な景観を見せています。



【21】川越女子高校の桜並木と六軒町のカトリック川越教会

平成4年(1992)に建て替えられ、尖塔のある鐘楼がシンボルの教会と、昭和初期に植え替えられ、アーチをなす桜並木は、六軒町の静かな住宅街に彩りを添える存在です。



【3】大正浪漫夢通り

かつては猪鼻通りと呼ばれ、城下十カ町に隣接する郷分町として繁栄。昭和36年(1961)に架けられたアーケードは平成7年(1995)に撤去。現在は蔵造り、町家、洋風建築、看板建築などが混在し、独特の町並みを楽しめます。



【2】川越商工会議所

昭和2年(1927)築の旧武州銀行川越支店。登録有形文化財・都市景観重要建築物。旧志義町通りの穀市繁栄を象徴しています。当時銀行建築として流行したギリシャ神殿風のドリス式列柱が特徴の重厚な建物です。



【5】松江町の教会

レンガの教会として親しまれている日本聖公会川越キリスト教会礼拝堂。市内唯一のレンガ造建築。立教大学の礼拝堂なども手がけたアメリカ人建築家 W. ウィルソンの設計で、外壁(主壁)を外から支持・補強するバットレス構造が特徴です。



【26】蔵造りの町並み

明治26年(1893)の大火後に川越商人が復興に取組み、日本の伝統的な耐火建築である土蔵造りを採用。一番街付近は、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



【28】旧八十五銀行本店本館(埼玉りそな銀行川越支店)

明治11年(1878)銀行設立、大正7年(1918)築の本店本館。ネオルネサンス調でドーム屋根の尖塔が印象的な川越のランドマーク。設計は丸の内赤煉瓦オフィスも手がけた保岡勝也。



【29】時の鐘

江戸時代初期から城下町に時を告げ、庶民に親しまれた鐘撞堂は、火の見櫓の役目も果たしました。現在の堂は明治26年(1893)の大火後に再建されたもの。自動で午前6時・正午・午後3時・午後6時の1日4回つき鳴らされています。



【31】菓子屋横丁

明治の初期に江戸っ子好みの気取らない駄菓子を売り出したのが始まりです。大正末期から昭和初期にかけては菓子製造卸売の町に発展しました。現在のような賑わいは、駄菓子の小売りに業態を変化させ、石畳の道に整備されてからです。



【40】旧赤間川の光景

現在の新河岸川の田谷堰から上流にかけては、かつて赤間川と呼ばれていました。空や岸辺の緑が川面に映る様子を楽しめます。地域の人々が浄化活動に取り組み、清らかな流れが復活しました。



【38】新河岸川

旧赤間川の流路変更に伴い、昭和13年(1938)に設置された田谷堰。ここから宮下橋までは、木材を使用して整えられた護岸のうえに、桜が並木となっています。春にはこのあたりで春祭りの一環として手漕ぎの和舟が運行されます。



【35】川越氷川神社

川越十カ町の総鎮守。欽明天皇の即位2年(541)武蔵国足立郡氷川神社(現大宮氷川神社)を分祀したと伝わります。近年はパワースポットとして人気があり、一年中若者や外国人参拝者で賑わいます。



【34】川越市立博物館と美術館

弘化3年(1846)に焼失した川越城二の丸跡に建てられた博物館と美術館は、白い壁と大きな瓦屋根が特徴。川越の歴史研究・芸術文化普及のシンボルとなっています。



【33】川越城跡

別名初雁城または霧隠れ城。長禄7年(1457)太田道真・道灌親子によって築城された当初は小規模でしたが、寛永の大火後に拡張されて4万6千坪余りの平城となりました。現存する建築は本丸御殿と家老屋敷です。



【11】浮島神社

「うきしま様」と親しまれています。この一帯を昔は「多能武沢」といい、三芳野でも眺望にすぐれ、「武蔵名所考」にも記載があります。七ツ釜といわれる湧水や片葉の葦の伝説があり、川越城南の水源を担っています。



【13】喜多院

天台宗星野山喜多院は、平安時代の天長7年(830)無量寿寺として創建。江戸時代に徳川将軍家の庇護を受け、寺勢を保ちました。文化財も数多く有し、また、四季折々多彩な表情で参詣者を楽しませてくれる川越を代表する名刹です。



【14】仙波東照宮

徳川家と関係の深かった天海が寛永10年(1633)に創建。5年後に大火で焼失、家光が願主となり、もとは中院があった現在地に再建されました。中院はこのときに現在地へ移転しました。



【24】小江戸蔵里

旧鏡山酒造(明治8年・1875創業)の醸造蔵を再生活用して平成22年にオープン。おみやげ処(明治蔵)、まかない処(大正蔵)、くら市場(昭和蔵)の3つの蔵で構成され、これらの蔵は国の登録有形文化財です。



【50】クレアモール

「新富町まちづくり協定」に基づいて事業が進められ、平成11年(1999)に電線のない石畳のモールが完成しました。丸広百貨店の屋上の遊園地やクレアパークのイベントなども楽しいセンター街です。



【44】川越の昭和モダン太陽軒

川越でもモボ・モガたちが闊歩していた昭和4年(1929)頃の建築です。ピンクグレーの外壁と幾何学模様の窓や扉を持ち、角の入り口部に曲面を用いたデザインは、モダンなカフェや洋食店を想起させます。



【48】中成堂歯科医院

現存する洋館建築としては川越で最も古い、大正2年(1913)築。洋風下見板と構造体である柱を化粧したスティックスタイルのデザインが特徴で、現在の外壁は建築当初と考えられる色を再現。



【49】旧山崎家別邸

菓子商亀屋(天明3年・1783創業)の別邸として大正14年(1925)に建てられました。旧第八十五銀行本店本館と同じく建築家保岡勝也の設計で、庭に茶室も配されています。皇族などのための迎賓館としての役割も担った建物。



マップ範囲内のそのほかの百景

- 【1】旧志義町の町並み
- 【4】喜多院の西界隈
- 【8】蓮馨寺とその界隈
- 【9】旧川越織物市場
- 【10】永島家と七曲り
- 【12】お不動さまと蚤の市
- 【15】中院の四季
- 【22】出世稲荷神社の大イチョウ
- 【23】八幡神社と年中行事
- 【27】札の辻界隈
- 【30】広済寺と喜多町
- 【32】寺町通りとその界隈
- 【37】東明寺、河越夜戦跡と門前
- 【39】ヤオコー川越美術館
- 【41】川越高校のくすのき
- 【42】石原のささら獅子舞、観音寺と本応寺
- 【43】川越の料亭群
- 【45】江戸道の起点、百丈と旧江戸町
- 【47】栄林寺のしだれ桜

※栄林寺のしだれ桜は平成27年に自然倒木したため、現在は見る事ができません。